シンポジア

第21回農薬残留分析研究会

日時：平成10年9月24～25日

場所：伊良湖ビューホテル（愛知県渥美半島伊良湖岬）

主催：日本農薬学会農薬残留分析研究会

第21回農薬残留分析研究会が9月24～25日（木、金）の2日間、愛知県渥美半島伊良子岬（渥美郡渥美町）にある伊良湖ビューホテルで開催された。9月下旬は台風シーズンであり、一時研究会の開催も危ぶまれたが、幸いにも前日までに台風は去り、研究会の2日間は天候にも恵まれ140名余の参加を得て盛会に行われた。

伊良湖岬は伊勢湾が太平洋に開ける渥美半島の先端に位置し、その山の上にたつビューホテルは西に島崎藤村の椰子の実の歌で有名な恋路ヶ浜と夕日を眺め、東に太平洋と朝日を見るという絶好のロケーションに立っている。渥美半島は温暖な気候と豊川用水の通水により農業基盤が整備され、キャベツ、メロン等の野菜類、電照菊に代表される花き等が生産されており、豊橋近辺にはトヨタ自動車田原工場があり、豊橋港は輸入自動車陸揚げ日本一の港と近代産業も盛んなところである。

研究会の1日目は午後1時から農薬残留分析に関わる一般講演10題、5時過ぎから特別講演「渥美農業の現状と展望」と題してJA愛知経済連営農支援センター鈴木太氏から渥美半島の農業の歴史、現状などが紹介された。研究会終了後は、研究会の特徴である泊まり込みでの討論、親睦を深める懇親会、それに続く2次会が開催され、夜9時頃には電照菊の照明でいくつものハウスが暗闇に幻想的に浮かび上がり、ホテル内では夜遅くまで元気のいい声が響いていた。2日目は早朝8時30分から第2回ヨーロッパ農薬残留ワークショップ報告（日大 武田）、第9回国際農薬化学会議報告（残研 坂）があり、最新の海外での残留農薬分析状況が紹介された。9時30分からは今回の研究会の特徴でもあるシンポジウム「LC/MSによる残留農薬分析」と題して、LC/MS概要説明（残研 島村）の他に、ウォーターズ（米久保）、島津（八巻）、横河アナリティカル（滝埜）、日立（永井）、サーモクエスト（前田）とLC/MSの主なメーカーに同じ会場でそれぞれの機器の特徴、応用等最新の情報を紹介していただいた。通常は各メーカー毎に聴く機会はあるが、主なメーカーが一堂に会することは少ないので参加者には好評な企画であった。

特別講演、シンポジウム、一般講演は以下の内容で行わ

れた。

9月24日（木）

一般講演

1. 防虫袋から果実への農薬の移行
岐阜県保健環境研究所 °形見武男, 中村昌司
2. 土壌カラムリーチング法による農薬の土壌浸透調査
栃木県農業試験場¹⁾, 青森県農業試験場²⁾, 宮城県農業センター³⁾, 千葉県農業試験場⁴⁾, (財)日本植物調節剤研究協会⁵⁾ °伊藤和子¹⁾, 増田幸保²⁾, 大川郁子²⁾, 竜野栄子³⁾, 山本幸洋⁴⁾, 権田重雄⁵⁾
3. クレソキシムメチルおよびその代謝物の作物残留分析法
(株)日曹分析センター °中沢 昭, 小野真貴子, 宮 賢治, 五明 健
4. 残留試験の GLP についての一考察
日本バイエルアグロケム(株)結城中央研究所 滝野 卓
5. 残留農薬分析における免疫化学測定法 ―初めて免疫化学測定を行う人のために―
農業環境技術研究所¹⁾, (株)ヤトロン²⁾, 東京家政大大学院³⁾ °石井康雄¹⁾, 三宅司郎²⁾, 鎗田恭子³⁾, 稲生圭哉¹⁾, 小原裕三¹⁾
6. 農薬分析のための GC 試料注入の改良
ジーエルサイエンス(株)技術開発部 佐々野僚一
7. 殺虫剤エマメクチン安息香酸塩の作物残留分析法
(財)日本食品分析センター °藪崎 隆, 飯塚玲子, 澁谷直美, 小松一裕
8. シリカゲルミニカラムの前処理効果
(財)残留農薬研究所 °杉本佐和子, 島村裕二, 小林裕子, 加藤保博
9. HPLC (PDA および MS) による多成分同時分析に関する検討
(財)残留農薬研究所 °若曾根佳樹, 飯島和昭, 坂真智子, 小田中芳次, 加藤保博
10. LC-ESI-MS/MS による水田用除草剤の分析
農業環境技術研究所 °石坂眞澄, 高木和広, 佐藤姚子

特別講演

渥美農業の現状と展望

JA あいち経済連営農支援センター 鈴木 太

9月25日(金)

学会報告

第2回ヨーロッパ農薬残留ワークショップ報告 日本大学

生物資源科学部 武田明治

第9回国際農薬化学会議(ICPC)報告 —The Food-Environment Challenge—

(財)残留農薬研究所 坂 真智子

シンポジウム:LC/MSによる残留農薬分析

1. LC/MSによる残留農薬分析の現状—高感度,高選択性
定量測定装置のユーザーという立場から—

(財)残留農薬研究所 島村裕二

2. 農薬分析におけるEI/API各イオン化法の特性と分析例

日本ウォーターズ(株) 米久保淳,一木満貴子,持田真紀,金井みち子

3. LC/MSをすべての人のために!新感覚液体クロマト
グラフ質量分析計LCMS-QP8000の紹介

(株)島津製作所 八巻 聡,河野慎一,久保はるみ,村田英明,林 守正

4. LC/API-MSの農薬残留分析への応用

横河アナリティカルシステムズ(株) 滝埜昌彦,大河原正光,代島茂樹

5. 日立LC3次元QMSによる農薬分析の紹介

(株)日立製作所 永井伸治

6. イオントラップ型LC/MS,LCQを使った農薬の分析
サーモクエスト(株) 前田陽子

研究会終了後,午後は希望者のみ豊橋駅迄の帰途,渥美農協の菊自動選花システム,日本シアナミドの研究所見学

後豊橋駅で解散した。今回の会場は渥美半島伊良湖岬の先端にあり,新幹線のこだま(ひかりは1日3本)が停車する豊橋駅からバスで1時間半余かかる辺鄙な場所で開催したが,幸いにも東京駅八重洲口から伊良湖行きのバスが昼,夜行1本づつ運行されており,それを利用して東京からのんびり来られた方もあった。

本研究会の開催に当たり地元愛知県衛生研究所,愛知県食品衛生検査所,岐阜県保健環境研究所,名古屋市衛生研究所,三重県保健環境研究所の職員の方々のご協力に感謝します。

開催幹事:斎藤勲(愛知県衛生研究所)

永山敏廣(東京都立衛生研究所)

PS. 第21回農薬残留分析研究会の講演要旨集には平成10年5月22日JA全農 営農・技術センターで開催された第2回談話会パネルディスカッション「農薬残留分析者の苦労話」及びQ/A集—農薬残留分析で困ったこと—が記載されているので要旨集希望の方は学会事務局までご連絡したい。

1. 農薬残留分析での苦労話 全農管財(株)平塚支店 田中文隆
2. 分析機器をいかにうまく使いこなすか (財)日本食品分析センター多摩研究所 藪崎隆
3. 手作りのミニカラムで経費削減 長野県農業総合試験場 矢口直輝
4. 検出限界と定量限界について 日本バイエルアグロケム(株) 黒河内伸
5. ビスピリバックナトリウム塩の玄米・稲わら残留分析法 クミアイ化学工業(株)生物科学研究所 斎藤芳宏
6. 標準品の管理とGLP対応 東京都立衛生研究所 永山敏廣
7. Q/A集—農薬残留分析で困ったこと—